

図書紹介

◎カラーで見る世界の木材 200 種 須藤彰司著 A5 版 255 pp. KK 産調出版 東京, 1997. 1 刊 定価 4,940 円 (税込み)

必要なときにパッと開けばサッと用がたせる。まさに現代センスにマッチした書が出た。本書は、著者がこれまで使いやすさ、分かり易さ、実用性を求めてきた思想が凝集されたともいえる秀作である。

「木材の名前についてあれこれ」で始まる、この書き出しをみても、専門家のもとより、いわゆる素人にとっても、理解し易く、まさしく読ませる本ではなく、読んでもらう工夫が随所にみられて、新鮮な心地よささえ感じさせる心憎いまでのイントロである。輸入商社や木材加工業者から、外国産材に対する多くの問い合わせ、特に市場でほとんど好き勝手につけられている木材名に泣かされることがしばしばあるのはどうしても、よく理解できる。著者が長年培ってきた木材への深い造詣、加えて木材業界への指導、普及を積極的かつ献身的に行ってきた精神が息づいている。収録されている木材 200 種は、著者が過去の問い合わせ数、また、よく用いられる主要な樹種などを熟慮・厳選した、国産材はもちろん、北洋材、台湾産材、南洋材、太平洋地域産材、北米材、中・南米産材、アフリカ産材など世界各地の美しい木肌、木目に接することができる。木材をこよなく愛した著者がそれぞれの木材の特徴をよく示している材鑑を自ら選び、撮影している姿が目浮かぶようなカラー写真のできればもさすがである。その上、限られたスペースをフルに使って、学名、現地名、分布、木材の性質、そして用途まで中味の濃い解説が記載されている。A5 版横開き、縦形式にした意図もよくわかる。さらに、最後に木材の基本性質が一目でわかる気配りも嬉しい限りである。まさに“この一冊さえあれば”の必携書といえる。欲をいえば、プラス 50 種位あってもよいのでは、と思うが、ボリュームからみて、これくらいがむしろ適切かもしれない。(太田貞明)